

教科 【 家庭科 】

■授業革新推進に向けての具体的な方策

<p>視点1</p> <p>板橋区授業スタンダードの徹底、及び板橋区授業スタンダードSの取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業開始時にめあてや見通しの提示をし、生徒一人一人が主体的に課題を意識して学習できるようにする。 ・「わかる・できる・楽しい」授業作りのため、画像や資料等ICT機器等の活用や、実習や体験学習を取り入れる。 ・授業の終わりや單元ごとに振り返りを行い、学習した技術や知識を家庭生活につなげられるようにしていく。 ・作業の進度の差が生じるため、タブレットで製作確認シートを作成し、個人の目標や課題を設定し、学習の振り返りをするだけでなく、製作状況の画像を保存して可視化し、作業工程の確認や自己調整、課題解決を図る。
<p>視点2</p> <p>読み解く力の育成</p>	<p>めあての提示（授業の最初に、めあてや学習の見通しを提示する）</p> <p>→自力解決（Think（思考）教科書や資料の説明や図、ICT機器を活用して、学習内容、課題を生徒一人一人が意識して学習に取り組めるようにする。</p> <p>→ 集団解決（グループ学習やまとめや発表の機会を設定し、互いの考えや工夫に気づき、さらに考えを深められるようにする。）</p> <p>→ 振り返り・まとめを重視する（授業での学習から、日常生活の中での問題や課題につなげ、問題解決能力、課題解決能力の育成を図る。）</p>
<p>視点3</p> <p>総合的な学習の時間との連携</p>	<p>総合的な学習の時間との連携を図るために、探究的な学習の学び、問題解決学習を重視する。</p> <p>課題設定、情報収集、整理分析、できることを実行、まとめ表現の学習過程を総合的な学習の時間とつなげられるようにする。また、SDGsや環境を消費生活などの分野の学習と関連して学習できるようにする。</p>